

平成28年度大学職員情報化研究講習会～基礎講習コース～
大学生活のいろは～1年生になったら～

【課題認識】

テーマ設定にあたり、我々は各々の大学の問題点を討議した。そのなかで我々は昨今の学生の意識が低いという共通課題を取り上げた。そして、それを解決する上で必要な大学の役割は「社会で通用する力を養成する」、「社会で即戦力の人材育成」であると考えた。そこで、それらを実現するためには学生に主体性を持たせ、意識の低い学生に将来像のヴィジョンを持たせる初年次教育が問題解決に繋がると考え、「大学生活のいろは～1年生になったら～」をテーマ設定した。

【討議内容】

昨今の学生は入学時から学業に対する意識が低く、大学でどこへ行き、何をしたらいいかわからないという悩みを抱えていることが多い。そして、その結果4年間の目標を持つことができず、大学での自分の居場所を見出せず、中途退学へ繋がると議論した。これらのことから、入学してすぐに4年間の目標をもってもらい、大学が自分の居場所のひとつであると認識できる機会があれば、充実した学生生活ができるのではないかと議論した。そしてさらに、教職員・先輩たちと学修計画・学生生活等を考えることが、将来像のヴィジョンを抱く上で重要であると判断し、新入生・教職員ともに交流できる場を設けることができないかを討議した。

【提案内容】

～新入生向けのフレッシュマン・コミュニケーション・キャンプ～

入学してすぐに教職員・先輩を交えた合宿を実施し、履修登録からアルバイトの相談ができるようにする。またこれに平行しICTを駆使し、出席管理システムによって出席管理を行い、キャンプの参加者を追跡できるような制度を構築する。

～1年生の全員面談～

1年生に対し、入学後3週間目までの出席状況を基に全員面談を行う。早期に面談を行うことで、大学生活の不安を解消し、目標設定のフォローができることが期待される。ここでも、ICTを駆使して出席状況に加え、大学施設利用状況(図書館等の入館記録)の情報を使い、欠席が連続した学生(退学予備軍)を優先的に面談し、退学のリスク要因を洗い出す。

～少人数教育～

人数が少ないことで先生との距離が近くなり、必然的に学生が参加しやすくなる環境が得られる。ここではICTを使って、大人数授業の場合には「クリッカー」、「画像共有」アプリ等で少人数教育を一層効率的なものにし、新入生の礎学力向上を図る。